



2024年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社GRCS 上場取引所 東
コード番号 9250 URL <https://www.grcs.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 慈和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中 郁恵 TEL 03 (6272) 9191
定時株主総会開催予定日 2025年2月28日 配当支払開始予定日 ー
有価証券報告書提出予定日 2025年2月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期の連結業績（2023年12月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	3,288	18.1	44	—	25	—	112	—
2023年11月期	2,783	16.0	△145	—	△173	—	△280	—

(注) 包括利益 2024年11月期 112百万円 (—%) 2023年11月期 △271百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年11月期	85.05	—	39.9	1.5	1.3
2023年11月期	△218.52	—	—	△11.8	△5.2

(参考) 持分法投資損益 2024年11月期 ー百万円 2023年11月期 ー百万円

(注) 2023年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。2024年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	1,923	415	20.4	290.11
2023年11月期	1,434	218	12.1	134.63

(参考) 自己資本 2024年11月期 391百万円 2023年11月期 172百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年11月期	312	△224	41	740
2023年11月期	△121	△214	104	611

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年11月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,953	20.2	115	161.5	89	249.4	60	△46.1	44.92

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年11月期	1,380,130株	2023年11月期	1,314,130株
2024年11月期	29,803株	2023年11月期	29,800株
2024年11月期	1,322,829株	2023年11月期	1,282,087株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年11月期の個別業績 (2023年12月1日~2024年11月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	2,948	20.8	15	—	99	—	193	—
2023年11月期	2,441	9.9	△185	—	△210	—	△299	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期	145.90	—
2023年11月期	△233.50	—

- (注) 1. 2024年11月期の経営成績は、GRCセキュリティ事業において稼働率を改善し、フィナンシャルテクノロジー事業において新たな証券会社との取引が開始したことにより売上高が増加いたしました。また、売上高総利益率の高いプロダクト販売が好調となったことに加え、運用コストの見直しを行い販売費及び一般管理費を抑制したことにより、営業利益及び経常利益が2023年11月期と比較し増加いたしました。最近の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上したことにより、当期純利益が前期を上回る結果となりました。
2. 2023年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。2024年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	1,874	491	25.0	346.38
2023年11月期	1,289	154	12.0	120.54

(参考) 自己資本 2024年11月期 467百万円 2023年11月期 154百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年1月15日(水)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	11
(1株当たり情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果により景気は緩やかに回復しております。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢等による、海外景気の下振れリスクに注意が必要な状況であります。

当社グループが属する事業環境においては、サプライチェーンマネジメントの整備やESG投資・SDGs推進を考慮したリスクマネジメントへの取組みが進む等、GRC及びセキュリティ領域への対応が注目される状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、持続的な企業成長を支えていくため「進化に、加速を。」をミッション、「世の中を、テクノロジーでシンプルに。」をビジョンに掲げ、複雑に変化し続ける世の中で直面する多種多様なリスクへ敏感に迅速に対処するために常に新しいことに挑戦し、進化し続け社会的価値の向上に取り組んでおります。

2024年11月期において、GRCセキュリティ事業では外部委託先リスクマネジメント支援ツール「Supplier Risk MT」が外部委託先管理プロセスのシステム化や業務効率化を重要視している保険業界から引き合いを受け、また、一般社団法人日本クラウド産業協会が発表した「ASPICクラウドアワード2024」の基幹業務系ASP・SaaS部門において「先進ビジネスモデル賞」を受賞しました。導入事例、受賞の公表により、金融業界からの問い合わせが増加しております。また、国内外におけるリスク情報の早期入手による迅速な対応策の検討・実施とその進捗状況の可視化、リスク評価の向上、関連情報の一元管理を可能にするため、全社的リスクマネジメント支援ツール「Enterprise Risk MT」へAIリスク情報サービス「FASTALERT」の連携オプションの提供を開始いたしました。厳格化する法規制や改正個人情報保護法に対応するため、データプライバシーにおけるデータ管理の一元化・可視化と自動化を実現する「OneTrust」の導入も増えております。フィナンシャルテクノロジー事業においては、売切り型ライセンスの販売に加え、新たな証券会社から開発案件を受注し売上高が増加いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高3,288,826千円（前期比18.1%増）、売上総利益1,072,326千円（同35.4%増）、営業利益44,162千円（前期は営業損失145,537千円）、経常利益25,599千円（前期は経常損失173,284千円）、親会社株主に帰属する当期純利益112,507千円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失280,157千円）となりました。

なお、当社グループはGRCソリューション事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ488,987千円増加し1,923,417千円となりました。

売切り型ライセンスの販売及び開発案件の受注に伴い、売掛金及び契約資産が151,980千円増加いたしました。また、前連結会計年度に実施したフィナンシャルテクノロジーの事業譲受に関して、取得対価に含めていなかった400,000千円のうち200,000千円の支払条件が充足され、のれんの追加取得等により無形固定資産が116,367千円増加いたしました。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産が111,100千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、資産合計が増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ291,742千円増加し1,508,053千円となりました。

プロダクト販売が好調となりライセンス料等の契約負債が63,746千円増加、従業員へのインセンティブとして支払う賞与、法定福利費等による未払費用が96,680千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、負債合計が増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ197,245千円増加し415,364千円となりました。

第三者割当増資を行ったことにより、資本金が59,994千円増加、資本準備金が59,928千円増加しました。また、連結子会社株式の追加取得を行い株式会社バリュレイトを完全子会社化したことに伴い、非支配株主持分が45,213千円減少いたしました。

これらが主な要因となり、純資産合計が増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は20.4%（前連結会計年度末12.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、株式の発行による収入114,332千円、税金等調整前当期純利益が25,540千円(前期は税金等調整前当期純損失172,967千円)と増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ128,572千円増加し当連結会計年度末には740,032千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は312,704千円(前期は121,692千円の支出)となりました。

資金の主な増加要因は、プロダクトの販売によるライセンス収入の契約負債の増加額63,746千円、フィナンシャルテクノロジーの事業譲受によるのれん償却額91,976千円、未払費用の増加額96,632千円、税金等調整前当期純利益25,540千円であります。

資金の主な減少要因は、売切り型ライセンスを販売したことに伴う売上債権の増加額151,980千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は224,475千円(前期は214,245千円の支出)となりました。

これは主に、フィナンシャルテクノロジーの事業譲受による支出200,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は41,589千円(前期は104,272千円の収入)となりました。

これは主に、事業投資やM&A等に柔軟に対応することを目的とした第三者割当増資を行い、株式の発行による収入114,332千円、資金効率を高めることを目的とした借換を行い、長期借入れによる収入250,000千円、短期借入金の純減額62,501千円であります。加えて、約定返済となる長期借入金の返済による支出183,519千円、連結子会社株式の追加取得を行い、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出58,800千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年11月期においては、組織を変革しソリューション事業、プラットフォーム事業、フィナンシャルテクノロジー事業の3事業体制へと移行いたします。共通の戦略として既存顧客から継続的に収益を上げるリカーリングモデルの強化に取り組むことで、安定した収益基盤を整えてまいります。加えて、事業別の戦略を定めることで更なる売上高の拡大を図ってまいります。販売費及び一般管理費については、ソリューション事業において、専門人材獲得のため採用教育費の増加、フィナンシャルテクノロジー事業において、のれんの追加取得によるのれん償却額の増加等を見込んでおります。

以上により、2025年11月期の連結業績につきましては、売上高3,953,404千円(前期比20.2%増)、営業利益115,471千円(同161.5%増)、経常利益89,450千円(同249.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益60,661千円(同46.1%減)を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	611,459	740,032
売掛金及び契約資産	339,090	491,070
貸倒引当金	—	△4,493
仕掛品	1,737	3,510
前渡金	59,410	68,040
前払費用	51,295	30,249
その他	5,721	4,183
流動資産合計	1,068,715	1,332,592
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	61,492	53,458
工具、器具及び備品(純額)	4,517	7,886
有形固定資産合計	66,009	61,345
無形固定資産		
ソフトウェア	13,331	21,085
ソフトウェア仮勘定	—	1,989
のれん	232,136	340,160
顧客関連資産	13,883	12,483
無形固定資産合計	259,351	375,719
投資その他の資産		
長期前払費用	990	1,381
繰延税金資産	—	111,100
差入保証金	37,155	38,379
その他	250	1,750
投資その他の資産合計	38,395	152,612
固定資産合計	363,756	589,677
繰延資産		
社債発行費	1,957	1,147
繰延資産合計	1,957	1,147
資産合計	1,434,430	1,923,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,708	130,500
短期借入金	100,000	37,499
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	154,476	193,994
未払費用	187,172	283,853
未払法人税等	4,697	32,769
未払消費税等	24,507	89,555
契約負債	116,895	180,642
預り金	9,461	22,765
賞与引当金	748	—
流動負債合計	702,668	991,580
固定負債		
社債	70,000	50,000
長期借入金	321,899	348,862
繰延税金負債	4,158	—
資産除去債務	17,586	17,611
長期未払金	100,000	100,000
固定負債合計	513,643	516,473
負債合計	1,216,311	1,508,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,530	363,524
資本剰余金	267,999	314,340
利益剰余金	△298,910	△186,403
自己株式	△99,713	△99,718
株主資本合計	172,905	391,743
新株予約権	—	23,620
非支配株主持分	45,213	—
純資産合計	218,118	415,364
負債純資産合計	1,434,430	1,923,417

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
売上高	2,783,909	3,288,826
売上原価	1,991,967	2,216,500
売上総利益	791,942	1,072,326
販売費及び一般管理費	937,479	1,028,163
営業利益又は営業損失(△)	△145,537	44,162
営業外収益		
受取利息	7	146
受取賃貸料	1,522	—
受取手数料	415	545
その他	156	16
営業外収益合計	2,101	708
営業外費用		
支払利息	7,177	7,305
株式交付費	—	5,589
為替差損	21,685	4,863
その他	986	1,513
営業外費用合計	29,849	19,271
経常利益又は経常損失(△)	△173,284	25,599
特別利益		
新株予約権戻入益	317	—
特別利益合計	317	—
特別損失		
固定資産除却損	—	59
特別損失合計	—	59
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△172,967	25,540
法人税、住民税及び事業税	10,347	28,291
法人税等調整額	88,613	△115,259
法人税等合計	98,960	△86,967
当期純利益又は当期純損失(△)	△271,927	112,507
非支配株主に帰属する当期純利益	8,229	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△280,157	112,507

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△271,927	112,507
包括利益	△271,927	112,507
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△280,157	112,507
非支配株主に係る包括利益	8,229	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	299,200	263,669	△18,753	△99,713	444,403	317	36,983	481,703
当期変動額								
新株の発行	4,330	4,330			8,660			8,660
親会社株主に帰属する当期 純損失(△)			△280,157		△280,157			△280,157
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)						△317	8,229	7,912
当期変動額合計	4,330	4,330	△280,157	—	△271,497	△317	8,229	△263,585
当期末残高	303,530	267,999	△298,910	△99,713	172,905	—	45,213	218,118

当連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	303,530	267,999	△298,910	△99,713	172,905	—	45,213	218,118
当期変動額								
新株の発行	59,994	59,928			119,922			119,922
親会社株主に帰属する当期 純利益			112,507		112,507			112,507
自己株式の取得				△5	△5			△5
連結子会社株式追加取得に よる減少		△13,586			△13,586		△45,213	△58,800
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)						23,620	—	23,620
当期変動額合計	59,994	46,341	112,507	△5	218,837	23,620	△45,213	197,245
当期末残高	363,524	314,340	△186,403	△99,718	391,743	23,620	—	415,364

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△172,967	25,540
減価償却費	14,067	17,187
のれん償却額	32,863	91,976
株式報酬費用	—	21,436
受取利息	△7	△146
支払利息	7,342	7,305
株式交付費	—	5,589
固定資産除却損	—	59
為替差損益(△は益)	4,330	1,246
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	4,493
売上債権の増減額(△は増加)	58,841	△151,980
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,374	△1,772
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,418	45,791
賞与引当金の増減額(△は減少)	599	△748
契約負債の増減額(△は減少)	51,430	63,746
前渡金の増減額(△は増加)	△33,766	△8,629
未払費用の増減額(△は減少)	7,268	96,632
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,277	65,047
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△857	5,412
その他の資産の増減額(△は増加)	△17,262	20,404
その他の負債の増減額(△は減少)	2,389	13,304
その他	166	937
小計	△98,631	322,833
利息の受取額	7	146
利息の支払額	△7,209	△7,317
法人税等の支払額	△25,210	△5,632
法人税等の還付額	9,352	2,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121,692	312,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,397	△7,827
無形固定資産の取得による支出	△6,880	△13,099
資産除去債務の履行による支出	△5,700	—
事業譲受による支出	△179,000	△200,000
差入保証金の差入による支出	△8,027	△1,224
差入保証金の回収による収入	14,010	—
長期前払費用の取得による支出	—	△825
その他	△250	△1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,245	△224,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,835	△62,501
長期借入れによる収入	100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△162,792	△183,519
社債の発行による収入	97,569	—
社債の償還による支出	△10,000	△20,000
株式の発行による収入	—	114,332
自己株式の取得による支出	—	△5
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,660	2,082
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△58,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,272	41,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,330	△1,246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235,995	128,572
現金及び現金同等物の期首残高	847,454	611,459
現金及び現金同等物の期末残高	611,459	740,032

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、GRCソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
1株当たり純資産額	134.63円	290.11円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△218.52円	85.05円

(注) 1. 2023年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。2024年11月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
純資産の部の合計額(千円)	218,118	415,364
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	45,213	23,620
(うち新株予約権(千円))	(-)	(23,620)
(うち非支配株主持分(千円))	(45,213)	(-)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	172,905	391,743
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,284,330	1,350,327

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△280,157	112,507
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△280,157	112,507
普通株式の期中平均株式数(株)	1,282,087	1,322,829
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	-	<p>2020年2月28日取締役会決議 第1回新株予約権 新株予約権の数7,410個 (普通株式7,410株)</p> <p>2021年2月26日取締役会決議 第2回新株予約権 新株予約権の数21,400個 (普通株式21,400株)</p> <p>2024年2月28日取締役会決議 第4回新株予約権 新株予約権の数514個 (普通株式51,400株)</p> <p>2024年4月26日取締役会決議 第5回新株予約権 新株予約権の数2,540個 (普通株式254,000株)</p>